**[C5 開発演習]**

**要件定義書**

チーム名：[C5]

2024/06/05 第１版

改訂履歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 版数 | 日付 | 担当者名 | 備考 |
| 1 | 2024/06/05 | 藤本 | 新規作成 |
| 2 |  |  |  |
| 3 |  |  |  |
| 4 |  |  |  |
| 5 |  |  |  |
| 6 |  |  |  |
| 7 |  |  |  |

# 概要

以下に、名刺管理Webアプリケーション「シンプル名刺管理」（以下、本システム）開発に関する概要を示す。

## システム開発の背景

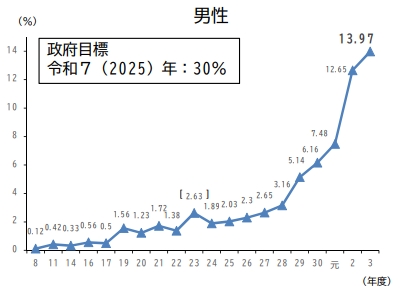
【概要】「父親の育児参加」を後押ししたい。

――（詳細↓）――――――――――――――――――――――――――

現在、**男女ともにキャリア形成と育児の両立をしたい**という声が大きくなっている。

厚生労働省の調査によると、第１子出産前後の女性の継続就業率は2000年初頭では15.3%、2019年ではその割合が42.6%にまで上昇している。また、国は令和7年までに第１子出産前後の女性の継続就業率を70％まで引き上げることを目標に据えており、これらのデータから導き出せることは、女性のキャリア形成への後押しは日本社会にも広く浸透しているということである。

他方、男性の育児休業取得率も大幅に上昇しており、男性が育児に参加するという状況を後押しする風潮もある。



しかしながら、女性の社会進出と男性の育児参加のバランスはいまだとれておらず、女性の育児休業取得率は80%台で推移しているのに対し、男性は13.97%にとどまっている。これでは、「男女ともにキャリア形成と育児の両立をする」という目標は達成できないままである。

このような背景を踏まえ、私達は現在バランスが取れていない一因である「父親の育児参加」を後押しすることを最終目標に、父ならではの悩みや課題を明確化し、育児に初めて参加するすべての父親のサポートを行うアプリを作成することを決めた。

既に競合サービスは存在するものの、「父親の育児」に焦点を当てているアプリは圧倒的に数が少なく、それらのアプリの評価などを分析して差別化を図ることが重要である。

## システムの目的

【概要】

父ならではの悩みや課題を明確化し、育児に初めて参加するすべての父親のサポートを行う。

※今回のアプリでは、第一子を持つ父親をターゲットとしているため第二子の際にも利用する可能性は考慮していない。しかしながら、現存するアプリでも「第二子にも使用したい」という声が既にあるので、アップデートという形でこれからの課題として発表の際にメンションしておきたい。

――（詳細↓）――――――――――――――――――――――――――

では、現在バランスが取れていない一因である「父親の育児参加」を後押しするためにはどうしたらよいのだろうか？そこにはどのような課題が存在するのだろうか？

ペルソナを設定し、彼らの悩みの根幹を具体化する。

【ペルソナ】

職業：会社員

年齢： 30歳

状況：

第一子を授かり、3か月の育休を取ろうとしている。その間、産休を12か月とっていた妻は、キャリア形成のために仕事に戻る。つまり父親一人で乳幼児とともにこれから生活をしていく、という状況である。（育休などの期間の長さは以下の厚生労働省の資料を参考にしている。）

カレンダー

自動的に生成された説明

会社での立ち位置：受け身がち

苦手なこと：積極的に話すこと

趣味：ゲーム

妻：

いわゆるバリキャリである（給料もそこそこ）。キャリアも子育ても両立したいため、夫の協力は必要不可欠。今回の育休も会社の制度上では取得できたが、キャリア形成においての夫との公平性を期すためにあえて取らなかった。ここでの公平性とは、産休を妻がとり、育休を夫がとることでキャリア面でも育児面でも同等の時間を配分できる、という意味を指している。

**今の悩み：**

* **まず第一として乳幼児を育てることへの基礎知識がなく、不安。**
* **妻は産休中で母親としての自覚が芽生えていた。自分も父親として自覚を持ち、行動を起こすことで母親を安心させたい。大丈夫だから心配しないでほしいと伝えたい。**

この2点の悩みを解決するため、以下のシステム（機能）を開発する。

## システムの全体像、開発方針

【概要】

ペルソナの悩みである「基礎知識の向上」「妻に安心してほしい」をメインに据え、「子育てにおける大体の悩みを解決できる」機能を実装する。

コンセプトは「お父さんに“なる”アプリ、育児マスターになるまでの道程」

――（詳細↓）――――――――――――――――――――――――――

彼の悩みは

#### 「基礎知識がない」

#### 「母親に安心してほしい」

に分けられる。これらの課題を一つずつ、優先順位をつけて解決していくことが重要と考える。

【First Step】

「基礎知識がない」を「これだけ知っておけば大丈夫！」という知識がまとめられたハンドブックで解決。

* インターネットには情報があふれており、それを取捨選択している時間がおしい。
* 調べたサイトを保存して管理するのも大変。すばやく確認ができる媒体がベスト。
* 余計な情報を排除し、わかりやすくすべてをまとめておいてほしい

→そこでハンドブックが役に立つ。詳細は以下２．システム要件より。

【Second Step】

「母親に安心してほしい」を「シェア機能付きの育児管理記録」をとおして実践。

* 母親は父親の記録書を好きなタイミングで確認するだけで必要な情報を仕入れることができる。
* 父親自身が記録をつけるということは、情報を取り入れ、アウトプットするということ。その行動が「父としての自覚」の芽生えにつながる。

→この機能では、「母親の安心」「父としての自覚」に焦点を当てている。詳細は以下２．システム要件より。

【Third Step】

更に、相談機能を付けることによって、

* 悩みの解決
* 父親特有の悩みを同じ立場同士でシェアし合うこと
* パパ友のコミュニティの獲得

を可能にする。

→詳細は以下２．システム要件より。

# システム要件

以下に、本システムの要件を示す。

## 機能要件

### 機能概要

本システムは、以下のように大きく4つの機能を持つ。

1. 「育児マスター」ゲームとしての機能
2. 育児基礎知識Handbook
3. お父さんによる育児記録書
4. お父さんたちの相談所

それぞれの機能についての概要は以下の通り。

1. アプリのサブコンセプトでもある「育児マスター」になるための道程をゲームのように楽しんでもらうための機能。以下に紹介する3つの機能を有効活用することで、ポイントを貯め、育児マスターになるというゴールをアプリ内で定量的に示す機能。
2. 赤ちゃんを育てる上での基礎知識をつけるための機能。テスト機能も付いており、自身の知識量を定量的に把握することができる。
3. 父親が子どもの記録を残し、そのデータを母親に共有する機能である。これは日中育児に参加できない母親に、簡潔かつ柔軟に情報を伝える手段となる。
4. ユーザー（お父さん）同士で相談し合える相談所機能。これを使用することにより、悩みの解決ができるのみならず、パパ友コミュニティの形成もでき、共感などから精神的支えを得られる可能性も高い。

### 機能詳細

以下に、機能の詳細を示す。

1. **「育児マスター」ゲームとしての機能**

【ゲーム概要】

[パターン①]

初期に０/１００と設定され、１００/１００になると育児マスターとして認定される。課題解決を担う本アプリの代表である以下に紹介する3つの機能を有効活用することによって、ポイントが貯まるシステム。

**Handbook**(MAX３３点)

「初級」のランダム５問クイズに満点なら＋４(MAX１１点)

「中級」のランダム５問クイズに満点なら＋４(MAX１１点)

「上級」のランダム５問クイズに満点なら＋４(MAX１１点)

**相談**(MAX３４点)

相談に解答して「参考になった」を貰うと、＋３(MAX３４点)

**記録書**(MAX３３点)

・１０日連続入力し続けると＋１１

・２０日連続入力し続けると＋１１

・３０日連続入力し続けると＋１１

[パターン②]

それぞれのクイズやミッションをクリアすることができたら「称号」を授与するというシステム。ミッション内容は上記と変わらないが、それぞれのHandbook・記録書・相談所での点数の合計が100点であるという上限はなくなる。

1. **Handbook (知識)**

この機能は、ただ知識をまとめた書類ではないのがミソである。このHandbookは基礎知識が「衣食住」の3分野に分けられており、それらが更に「初級、中級、上級」に分類されている。

このようにラベル・段階分けをすることによって、自身が必要な情報を瞬時に判断して見つけ出すことができる。

また、このHandbookにはテスト機能があり、「初級」「中級」「上級」のテストがそれぞれ衣食住問わずランダムに出題され、満点を取るとポイントが加算されるシステムが搭載されている。（テスト詳細は以下参照）

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明----（簡易画面イメージ↓）---------------------------------------------------------

--------------------------------------------------------------------------------------------

1. **お父さんによる育児記録書**

この機能は、父親が子どもの記録を残し、そのデータを母親に共有する機能である。これは日中育児に参加できない母親に、簡潔かつ柔軟に情報を伝える手段となる。

【登録項目】

・子どもの名前を初回のみ登録

・写真（初回のみ必須）

・食べたもの（朝・昼・夜）（記述式）

・排泄（選択式 問題あり・なし）

・体温（記述式）

・自由欄

1. **お父さんたちの相談所**

その名の通りお父さんたちの間で悩みや課題を解決するためのコミュニティである。育児を行うにあたって、同じ体験をしている人間の存在は必要不可欠である。実際、90%以上の父親がパパ友は必要であると回答している。（参考：パパしるべ調査<https://papashirube.com/survey/research_papa_friends/>）

機能詳細を記述する機能の一覧は以下の通り。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大項目 | 機能名 | 備考 |
|  | 「育児マスター」  ゲーム機能 | アプリのサブコンセプトでもある「育児マスター」になるための道程をゲームのように楽しんでもらうための機能。以下に紹介する3つの機能を有効活用することで、ポイントを貯め、育児マスターになるというゴールをアプリ内で定量的に示す機能。 |
|  | 育児基礎知識  Handbook | 赤ちゃんを育てる上での基礎知識をつけるための機能。テスト機能も付いており、自身の知識量を定量的に把握することができる。 |
|  | 育児記録書 | 父親が子どもの記録を残し、そのデータを母親に共有する機能である。これは日中育児に参加できない母親に、簡潔かつ柔軟に情報を伝える手段となる。 |
|  | お父さんたちの  相談所 | ユーザー（お父さん）同士で相談し合える相談所機能。これを使用することにより、悩みの解決ができるのみならず、パパ友コミュニティの形成もでき、共感などから精神的支えを得られる可能性も高い。 |

1. 「育児マスター」ゲーム機能

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | 「育児マスター」ゲーム機能 |
| 概要 | アプリのサブコンセプトでもある「育児マスター」になるための道程をゲームのように楽しんでもらうための機能。以下に紹介する3つの機能を有効活用することで、ポイントを貯め、育児マスターになるというゴールをアプリ内で定量的に示す機能。 |
| 処理内容 | 簡易的なクイズの処理（選択式）  現在のランクを表示しておく機能  ログイン回数をカウントする機能 |
| 想定利用者 | * 育児に不安感を感じている、0~2歳の第一子のお父さん |
| 備考 |  |

2. 育児基礎知識Handbook

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | 育児基礎知識Handbook |
| 概要 | 赤ちゃんを育てる上での基礎知識をつける |
| 処理内容 | 知識  衣食住の三つのコースに分ける  ↓  更にコースを初級、中級、上級の三つに分ける  テスト  「初級」「中級」「上級」のテストがそれぞれ衣食住問わずランダムに出題される  ↓  満点を取ると「育児マスター」ポイントが加算される  簡易的なクイズの処理（選択式） |
| 想定利用者 | * お父さんになりたての人 * 奥さんを「安心させたい」という願望はあるものの、知識面では何から学べばよいのか漠然としている人 |
| 備考 |  |

3. 育児記録書

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | 育児記録書 |
| 概要 | ユーザー（お父さん）が日々の子どもの記録を付けられる。かつユーザー（お母さん）も書かれた記録の閲覧をすることが可能。 |
| 処理内容 | データ登録  一覧表示機能  他媒体とのシェア機能 ← QRコードでシェアを行う  （最新順などのプルダウン機能）  （検索機能） |
| 想定利用者 | * 父親：日々の子どもの出来事を記録しておく側。当人にとっても育児のアウトプットの場にすることができる。 * 母親：どのような出来事があったのか自身のタイミングで知ることができる。 |
| 備考 | LINEで報告でもよいのでは？  ↓  （記録書にこだわる理由）   * 記入項目が決まっていることにより、報告事項に迷うことがなくなる。 * 育児記録をまとめておくことで、知りたい情報をすぐに参照できる。 * 病院などに行った時に参考にしやすい。 |

4. お父さんたちの相談所

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | お父さんたちの相談所 |
| 概要 | ユーザー（お父さん）同士で相談し合える相談所（機能） |
| 処理内容 | ・Slackのような投稿機能  ・コメントができる処理  ・「参考になった」ボタンの実装  （・検索機能）  （・お気に入りの保存機能） |
| 想定利用者 | * 同じ状況で困っているお父さんと助け合いたい人 * パパ友が欲しい人 |
| 備考 |  |